FINOWA ¦ 税務・会計

税理士大学院 説明会・個別相談 質問リスト 2027

免除対応・研究指導・社会人通学・費用・出願を、同じ質問軸で比較する

2027 EDITION

今回の更新

2026年10月7日時点のFINOWA大学院比較DB・2027募集情報・現行Toolsを基準に再構成。旧版の作成基準日（2026年5月）から変わった箇所を更新しています。

この資料は進路判断の補助資料です。入学可否、研究認定、科目免除を保証するものではありません。

1. 最初に聞く「5問」

30分しかなくても、この5問で候補校として残すかを判断できます。

- □ 希望する免除分野（税法/会計学）の研究指導に、2027年度も対応していますか。
- □ 希望テーマを指導できる教員は誰ですか。出願前相談は必要ですか。
- □ 社会人が2年間で修了する場合、平日夜・土日・オンラインの実際の時間割はどうなりますか。
- □ 論文指導は対面必須ですか。頻度、ゼミ形態、テーマ変更時の扱いを教えてください。
- □ 2027年度の出願締切・必要書類・入試方式で、税理士免除希望者に固有の条件はありますか。

赤信号

「免除できます」とだけ答え、指導教員・論文形式・履修モデル・申請実績を具体的に説明できない場合は、その場で候補確定しない。

2. 質問カテゴリマップ

カテゴリ	重要度	確認すること
A 免除制度	最重要	対象分野、必要科目、研究認定、申請支援
B 論文指導	最重要	教員、頻度、ゼミ、審査、修了要件
C 研究テーマ	高	自分のテーマが指導可能か、先行研究
D 社会人通学	高	夜間、土日、オンライン、長期履修
E 入試・出願	高	研究計画書、面接、事前相談、締切
F 費用	高	学費、給付金、追加費用、通学費
G 修了後	中	免除申請支援、再入学、キャリア支援

3. 税法2科目免除を狙う人の質問

□ 税法2科目免除を想定した履修モデルを見せてください。

□ 税法1科目合格前でも出願・入学できますか。出願要件と免除申請時の要件を分けて教えてください。

□ 法人税・相続税・消費税・国税徴収法など、どの研究領域を誰が指導できますか。

□ 過去の論文テーマの分野例を教えてください。

□ 研究認定で注意された論点、不認定・追加確認を避けるための指導方針はありますか。

□ 修了後の国税審議会への申請について、大学院はどこまでサポートしますか。

4. 会計1科目免除を検討する人の質問

- □ 会計学研究で会計1科目免除を目指す場合、研究指導の対象と履修モデルはどうなりますか。
- □ 会計1科目のみ合格済みの人が入学する場合、残り税法3科目をどう設計する例が多いですか。
- □ 税法研究と会計学研究の両方に対応していますか。同一課程で両方同時に免除を狙えるという意味ではないことを確認したいです。
- □ 財務会計・管理会計・会計制度など、希望テーマに合う教員は誰ですか。
- □ 税法免除を優先し、会計科目は試験継続する人との違いをどう考えますか。

FINOWAの基本線

会計1科目合格者でも、免除効果の大きい税法2科目免除を基本線に置き、会計免除は残り会計1科目の長期停滞などで検討します。

5. 論文指導・研究計画書の質問

□ 指導教員は出願時に決まりますか。入学後に変更できますか。

□ 個別指導とゼミの頻度はどの程度ですか。オンライン指導は可能ですか。

□ 研究計画書はどの程度具体化してから事前相談すべきですか。

□ 実務上の問題意識をテーマにする場合、学術的な問いへどう落とし込みますか。

□ 先行研究が少ないテーマ、制度改正直後のテーマはどのように扱いますか。

□ 生成AIを文献探索・文章整理に使う場合の学内ルールはありますか。

6. 社会人通学・オンラインの質問

確認軸	質問例	回答メモ
授業時間	必修・演習は平日夜/土日に集中できますか。	
研究指導	対面必須の回数は年/学期で何回程度ですか。	
オンライン	「授業オンライン」と「論文指導オンライン」を分けて教えてください。	
繁忙期	確定申告期や決算期に欠席・補講対応はありますか。	
長期履修	3年等へ延ばす制度、学費の扱いはどうなりますか。	
通学	最終授業終了時刻と最寄駅到着時刻を教えてください。	

7. 費用・給付・総負担の質問

□ 2027年度の入学金・授業料・施設費・論文審査費等の総額はいくらですか。

□ 教育訓練給付等の対象可否は、どの課程・条件で確認できますか。

□ 長期履修にした場合の総額はどう変わりますか。

□ 通学費、教材、学会・データベース利用等で別途必要な費用はありますか。

□ 休学・留年・論文延長時の費用ルールはどうなりますか。

8. 入試・事前相談の質問

□ 研究計画書・志望理由書で最も重視する点は何ですか。

□ 筆記・小論文・面接の配点や評価観点を公開できる範囲で教えてください。

□ 事前相談は必須/推奨/任意のどれですか。締切は出願より前ですか。

□ 税理士試験の科目合格証明は出願時に必要ですか。

□ 社会人選抜、一般選抜、特別選考で税理士免除希望者の扱いに違いがありますか。

9. 2026-10-07時点で特に確認が必要な学校

学校	現状	相談で確認すること
千葉商科大学	2027指導体制を確認中・診断対象外	税法/会計それぞれの研究指導体制を2027年度として確認
関西学院大学	2027春の論文指導は9/24締切済	通常入試と論文指導ルートを混同しない。次年度の受付時期を確認
法政大学	FINOWAでは掲載保留	税法免除に必要な修士論文指導の現行可否を大学へ直接照会
開志創造大学大学院	10/5-10/30受付中	オンラインでの授業/研究指導、税法・会計の指導体制を具体確認
明治大学 MBA	10/2-10/13受付中	ハイブリッド中心の実運用、税法/会計研究の指導体制を確認

10. 比較スコアシート

軸	A校	B校	C校	配点目安
免除分野の適合				25
指導教員/研究テーマ				25
社会人時間割				15
オンライン/通学				10
出願しやすさ				10
総費用				10
修了後サポート				5

点数は「学校の優劣」ではなく、自分の条件に合うかを比較するためのメモ。免除認定や合格可能性の予測には使いません。

11. 教員相談メールの短い型

テンプレート

件名： 2027年度大学院進学・研究テーマの事前相談について

本文：
○○先生
大学院進学を検討している○○と申します。税理士試験の（合格科目/学習状況）を踏まえ、（研究テーマ仮題）について研究を希望しています。先生のご研究との適合、出願前に確認すべき点について、可能な範囲でご相談の機会をいただけますでしょうか。募集要項・研究科サイトを確認のうえご連絡しております。

- 最初から「免除できますか」だけを聞かない。
- 研究テーマ・科目合格状況・勤務状況を簡潔に伝える。
- 大学公式の事前相談手順がある場合は必ずそちらを優先。

FINOWAで次の判断へ

PDFは「考えるための整理」、Webは「最新情報の確認」と「条件で絞る」ために使い分けます。

	大学院比較2027 最新34ルートを確認		候補診断 条件から候補を絞る

主要な一次情報

機関	公式確認先
国税庁 税理士試験	公式ページ
青山学院大学 GSPA	公式ページ
明治大学 MBA	公式ページ
明治大学 会計専門職研究科	公式ページ
中央大学 大学院入試	公式ページ
大原大学院大学	公式ページ
千葉商科大学 大学院	公式ページ
専修大学 大学院	公式ページ

全大学の公式リンクは FINOWA大学院比較2027 の更新欄から確認できます。